

- ・一曲一曲に山中さんの思いが詰まっていて、ジャズが作り出す豊かな表現にとっても引き込まれました。合唱班、吹奏楽班、榎君、今井さんの歌唱など、どれも各々の良さがジャズによっていっそう際立っていて、初めて音楽を聴いて感動しました。
- ・ピアノは優しい音と激しい音の出せる楽器だが、ドラムやベースの音に合わせて、組み合わせ合ったとき、聴いているこちらにも勝手にノリノリになるようなすごい演奏だった。
- ・1学期にピアノの演奏を聴いて、それを超える感動は正直考えていませんでした。しかし、今回のコンサートが始まると、山中さんの力強いピアノさばき、畠山さんの目で追えないほどのベースの指使い、橋本さんの目が離せない（こんなに目が離せなかったのは覚えがない）ドラムすべてに没頭し、第Ⅰ部が終わる頃には、最早呆気にとられていました。第Ⅱ部の交流演奏は今日のコンサートで最もよかった！あくまで生徒の演奏を主体とする御三方の演奏が素晴らしかったです。今井さんの歌は頭から離れません。校歌（ジャズリミックス…！）を皆で歌ったのも新鮮な体験で、忘れられない思い出となりました。第Ⅲ部で紹介された‘Today Is Another Day’は曲の背景も含め非常に印象に残る曲で、家に帰ってからもスマホで聴いていました。校歌、ポップス、盆踊りと、あらゆる曲と親和性の高いジャズに触れる良い機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。
- ・感動的でした。演奏が力強く素敵でした。3人の表情や細かな手の動きを見れたのがとても楽しかったです。特に、すごく速い曲を弾いてらっしゃる時の山中さんの笑顔は忘れられそうにありません。生徒とのコラボにも心打たれました。同年代または年下の人がこんな表現ができること、堂々とした振る舞いに驚かされました。今度から校歌は合唱班と今井さんに集会でも唄ってほしいです。
- ・ジャズはクラシックよりも情景が思い浮かびやすく、曲の表情がコロコロ変わっておもしろいと思った。いろいろな人とのかかわりやそれまでの経験を曲に込めているからこそ、山中さんのピアノの色が出ているのだなと感じた。
- ・一曲目から衝撃を受けました、私はありがたいことに最前列で見聞きさせてもらって、ピアノとベースとドラムの演奏者の方々が、互いに笑顔で目を合わせているのを見て、余裕を感じられたし、楽しんでいることが伝わってきました。山中さんがピアノをグーで叩かれたときは本当に驚きましたが、山中さんの世界各地でのエピソードを聞いたのは、とても良い経験になりました。
- ・曲の合間に、ベースとドラムの奏者の名前を呼ばれたり、お互いをリスペクトされていることも良いなと思った
- ・公演前はホールが暗いしジャズだし寝てしまうかもと思っていたが、興奮して全く眠くなりませんでした。

- ・強い演奏がとても面白かった。ピアノは腕全体を使って素早く鍵盤を叩いたり、足でリズムをとっておられて、最前列で一度にたくさんの魅力に触れることができた。八木節をジャズにアレンジされていたり、ジャズの奥深さに感動した。また、全校でもほとんど歌ったことのない校歌を、トリオのメンバーの方々と一緒に歌うことができ、大きな声で音楽を楽しむことのできる感動があった。
- ・ジャズがどんなものなのかあまり知らず、ピアノとベースとドラムの3人でどんな曲になるんだろうと不思議に思っていたのですが、想像をはるかに超える迫力で驚きました。ピアノがあんなに迫力のある音を奏でられるとは思わなかったですし、ベースがあんなに細かなリズムで動けるとも、ドラムが大きい音でなく柔らかくあたたかい音でリズムを刻めるとも思っていませんでした。何より、音楽を聴くことに加えて奏者の方同時の楽しそうな雰囲気味わえたり、奏者の方の手の動きなどで盛り上がりを感じられたりと、見ていても全く飽きない素晴らしい演奏でした。本当によかったです！とてもぜいたくな演奏を聞かせていただいて、本当にありがとうございました！
- ・どの曲をきいてもアメリカのにおいが残っていて、どの曲もおしゃれで、大人な感じがしました。最前列できくと音だけではなく、香水の香りもわかり、それも含めジャズの世界を体感することができました。
- ・今までジャズは大人な音楽で私には理解できないような難しいものだと思っていましたが、その良さが少し分かったように気がしました。ピアノ、ベース、ドラムのそれぞれに見せ場があって、どのように弾けば良いのかも教えて下さったお陰で、あまり身構えずに楽しむことができました。ステージ上で皆さんが心から音楽を楽しんでいる様子が肌で感じられて、生の演奏は初めて聴いたのですが、音源をきくだけでは満足できなくなってしまったかもしれません。最後の方にみんなで校歌を歌ったときは、大ホール中が一体となったように感じて、とても感慨深かったです。また機会があれば、聴きに行きたいです。
- ・音や演奏ももちろんすばらしかったのですが、私は何よりも今日演奏されていた三人の楽しそうな表情が、とても印象に残りました。個々人で演奏されているかのようにしながら、ジャズ特有の感じで、音と音がからまるのを、なんだか少し危ない遊びをするような感じで楽しまれていて、その表情もすごく良く、羨ましかったです。音ってあんな風に楽しく遊ばせられるものなんだなあと思いました。自分も、もう一度楽器が吹きたくなる、そんな演奏でした。
- ・ジャズの生の音は立体的で、3人がタイミングを合わせるときの息づかいなどが聞こえて、とてもリアルだった。生徒との共演は、生徒だけでも十分すごいと思うけど、3人の音楽と合わさって、ボリュームが出て、いろいろな楽器を使っているはずなのに一つになっていて、プロの力はやっぱりすごいなと思った。最後の校歌のときみんなすごくいきいきしていて、音楽を通してみんなが一つになるという体験をできてよかった。
- ・一緒にコラボしていた合唱班や吹部のみんな、ソロでコラボしていた1年生の子たちもすごく上手で何回でもききたいなと思いました。

- ・最後の一般公募で勇気を出した方がプロの方と一緒に演奏できるという機会は、勇気を出せば憧れの人とできる楽しさというのをまさに体現した良いものだなと思った。
- ・生まれてはじめて、生でジャズの演奏を聴くことができました。とても、本当に感動しました。失礼を承知でここに書きますが、実は私は最初、真剣に演奏を聴こうとは思っていませんでした。とというのも、今日中に解決しなければならない数学の問題の解がどうしても分からず、朝の5時までそれについて考えていて、睡眠時間を十分に確保できなかったからです。しかしざ演奏が始まると、音の激しく、あるいは滑らかな様子に本当に感動して、眠ろうという気持ちはすぐになりました。素晴らしい演奏を聴くことができた自分を幸福に感じ、この機会を準備してくれた方々、そして素晴らしい演奏をして下さった山中千尋さん、畠山令さん、橋本現輝さんらに、とても感謝しています。
- ・自分がこれまで知らなかった世界で、こんなに生き生きと活動している人がいるんだなと驚きました。世界中を飛び回って音楽を届けるなんて、とてもわくわくして楽しそうな仕事だなと思いました。自分のワクワクする道へぐんぐん進んでいくのもアリなんだと気づけました。

Today Is Another Day。今を大切に、今をどれだけすばらしく感じられるかが大切なんだなと分かりました。
- ・校歌のときみんなすごくいきいきしていて、音楽を通してみんなが一つになるという体験をできてよかった。
- ・ジャズと他ジャンルの親和性が高いことが驚きでした。これからずっと校歌はジャズバージョンでいいと思います。
- ・校歌は今井さんと合唱班にお願いしたいです。
- ・ジャズというテーマを聞いたときは、もともとジャズに全然興味がなかったこともあり、あまり楽しみには思えなかったのですが、実際に鑑賞してみて、驚きました。音楽性の高さと、なにより音楽に没頭されている姿が印象に残りました。自分自身、軽音楽部でライブをする機会がありますが、やはり自分で楽器を演奏しているのではなく、楽器に操られている感覚があります。何かに没入し、自分のものにするということは音楽以外でも大事にしたいと思いました。
- ・私は合唱班で山中さんたちとセッションをしたのですが、リハーサルで初めて合わせた時から、歌にぴったりのきらきらした伴奏をしてくださって、良い気持ちで歌うことができ、山中さんたちのパワーがすごいなと思いました。
- ・段々と盛り上がっていく感じがテンションもいっしょに上がって行って、とてもよかった。最も驚いたのは最後に「盆踊り」を持ってくることで、「この人たちめっちゃおもしろい！」と衝撃を受けました。

- ・伝統的なものをそのままの形で受け継いでいくことも大切だけど、違った形でより多くの人に触れてもらうのも良いと思いました。
- ・情熱や強さを表現して曲も素敵でしたが、私が一番好きになったのは「Today Is Another Day」です。曲調が何度も変わる中で、NYの街のにぎやかさと、少女のさみしい思いなどが、一番感じる事ができたからです。あと、ソロで歌った子、うちの（かるた班）後輩なので！！もうすごいい感動してました。なんかうれしかったですw。
- ・初めて生で聴いて、とても衝撃を受けた。ジャズのカッコよさや自由さを知ることができた。前半の部分では、「To S.」が一番かっこよくて好きだった。思わず全身でリズムをとって体をゆらしたくなった。山中さんは喋るのも面白く、プロってすごいなと思った。

私は合唱班と一緒に演奏させて頂いたが、客席で聴くのと一緒に演奏するのでは全く違って、初めは緊張していたが、すぐに楽しくなった。びわ湖ホールの響きもとても良く、貴重な機会を頂けたと感謝の気持ちで一杯です。
- ・一緒に演奏がきて本当に嬉しかったです。私たち3年生はこの舞台で引退するので、本当に貴重で幸せな時間でした。元々、中学時代はSaxをやっていたこともあって、いつかJAZZを生で聴いてみたいと思っていました、学校の芸術鑑賞が山中千尋さんのJAZZトリオで本当によかったと思います。力強く迫力がある演奏をありがとうございました！
- ・ジャズを実際に聴くまでは、縁遠くどこか自分とは決して交わらないと感じていました。親しみをもつような出来事がこれまでに一度もなかったです。しかし、山中さんたちの演奏を聴いて、一変しました。演奏に圧倒されたことと、膳所高の人たちとのコラボで、彼らをやさしくバックアップするような演奏に心打たれたのも理由です。
- ・目まぐるしく変化する曲調と力強い演奏の迫力に圧倒された。ベースの重みのある音、ピアノやドラムの響きはとても気持ちが上がった。特にサクソとのセッションが感動した。
- ・音楽を聴くことは好きですが、このような本格的なジャズを聴くのは初めてで、とても面白かったです。ジャズは少し単調なイメージがあったので、1曲の中でも展開があり、ストーリーがあることが興味深かったです。ボサノヴァは動画アプリなどで普段聴くことがあったのですが、生で聴くと耳がとても心地良くて癒されました。また山中さんの演奏を聴きにいきたいです！
- ・歌詞のない曲でも、いろいろな心情を込めて作られているとわかって、すごいなと思った。山中さんがピアノを弾くとき全身を使って、全力で弾いているのを間近で見て、かっこいいなと思った。
- ・どうしてジャズを選んだのか、聞いてみたいと思った。

- ・ジャズの生演奏は聞いたことがなかったので、始まる前からとてもワクワクしていました。生演奏ならではの臨場感、激しい音なのに繊細で美しい音色に魅了されました。また、合唱班や吹奏楽班との演奏、とても美しくてすばらしかったです。1年生2人のサクソと歌声も、同級生とはおもえないほどで、感動しました。山中さんが外国へ行かれた時のお話や、3人のやり取りが面白くて、聴いていてとても楽しかったです。この一日で、ジャズに興味がわき、好きになりました。山中さんたちの音楽を、私の友達や家族にも触れてみてほしいと思いました。
- ・まず始めに、山中千尋トリオの皆様、ホールのスタッフの方、学校の先生方など、この芸術鑑賞会に携わってくださったすべての方々に感謝を申し上げたいです。世界的なジャズミュージシャンをお呼びして、演奏を聴き、共演させて頂くという、普通はありえないような経験ができて、感無量です。プロの方三人とも音楽を心から楽しんでいるのが伝わってきて、自分も楽しくなりました。芸術鑑賞は3つの分野を1年ずつやるのではなく、色々なジャンルのミュージシャンを毎年呼んで演奏を聴きたいなと個人的には思いました。
- ・我らが☆1年5組☆からも多くの人が出演していて、ジャズとの組み合わせに思わず鳥肌が立つ場面もありました…！一番印象に残っているのは、吹奏楽との共演です。私が吹部に所属しているのでとても期待していたのもありますが、トロンボーン、トランペット、サクソの響きとジャズの曲想が印象深かったです。自分も吹部として出演したかったです。本当にこのような機会を用意してくださった方々に感謝したいと思います！！
- ・後半、なんか名前を見たことがあるなと思っていたが、1年5組の2人はDブロックの子たちだと分かりました。そんなすごい子たちがいたんだとわかり、すこしばかりしました。
- ・かるた班の後輩がとても上手な歌を唄っており、いつもの彼女からは想像できない歌声でとても驚いた。この後に塾に行って勉強しないといけないのがとても嫌だ。
- ・演奏を聴く直前は眠たくてうとうとしていたけど、演奏が始まった途端に、引き込まれて演奏に魅了されました。今まで自分が聴いてきた音楽はなんて幅が狭いのだろうと思いました。
- ・音だけでなく視覚的にもかっこいいと感じました。曲のアレンジがすごすぎて、八木節は群馬県の地域の歌なので、もっとゆったりした曲調のはずですが、裏拍と合わせてかっこよくなっていて、感動しました。
- ・コントラバスとドラムもすごかった。1年生の子が歌ったりサクソ吹いてたのが、とても尊敬しました。歌もう一回聞きたい～。
- ・毎日勉強する中で、気持ちに余裕がなくなってしまうことが多かったけれど、今日の芸術鑑賞会で気持ちを切り換えることができて、よかったです。

- ・山中さんのお話は、世界が広いことを教えてくれた。
- ・音が生きもののように動いき、心打たれた。特に、自分が聞きほれたのはドラムでした。
- ・ジャズは今まで触れた経験が少なかったため新鮮だった。3人で一緒に1つの音楽を作っていたが、3人とも「ソリスト」として自分の音楽を奏で、それでも1つの音楽になって、合わさって、大きくなっていたのが、すごく印象的だった。自分がやっているのは吹奏楽で、ジャズより調和や安定が求められるのだが、1人の「ソリスト」として演奏できるようになりたいと感じた。
- ・私はジャズダンスを習っているのですが、鑑賞する曲もいつも私が踊っている感じのやつかなと思ったけど、全然違うくて新鮮だった。「Let It Go」の子、めちゃくちゃ度胸があってカッコいいなと思った。次の芸術鑑賞も生徒とのコラボ企画をしていただけたらうれしい。
- ・普段から両親がジャズを好きなので、家でジャズを聴くことはあったけれど、生の演奏を聴くのは、はじめてでとても面白かった。ジャズと吹奏楽のコラボは聴いたことがあったが、ジャズと合唱のコラボはとても新鮮で感動した。両親がジャズを聴いているときに、私はポップミュージックが好きなので、つまらないなと思っていたが、ジャズにもいろいろな種類があって、楽器が変わると大きく雰囲気が変わると知り、もっとジャズを知りたいと思った。さまざまなジャズを聴きたいと思う。
- ・全員が演奏しているときと誰かがソロを演奏している時で、それぞれの音の質感が違って、どういう音楽を作っていきたいのかが見える演奏なのかが分かるのが、すごいなと思った。演奏者同士のリスペクトし合っている気持ちが伝わってくるのが、聞き手としても気持ちのいいものだなと思った。それぞれの曲ごとに全く違った雰囲気がうみだされているのがすごかったし、ジャズという1つの音楽ジャンルの幅広さがわかった。流されていきそうなリズムの中でも、きちっと合わせられていたのと、間のため方が揃っていて、余韻が十分にあって、とても良かった。
- ・ずっと聴いていても飽きないなと思いました。特に「Today Is Another Day」という曲が、病気と闘う少女の明るい雰囲気が、曲に表れていて好きでした。約2時間半、ジャズを聴いて、とても心が落ちつき、嫌なことも忘れてしまうぐらい、リラックスして聴くことができました。
- ・「BLUE GIANT」という漫画を読んで、ジャズにはなんとなく興味があったので、生の音楽が聴けてとても嬉しいです。マンガであったように演奏中に目配せしたり、それぞれにソロがあったりと、わくわくしました。ジャズの音楽は激しさと穏やかさの緩急が大きいのにとがってなくて驚きました。協調というより、ぶつかり合いながら合わせているという感じがしました。山中さんは話し方とか動きとか不思議な印象の方でした。また、1人で共演していた2人の演奏する姿はとてもまぶしくて、自分も何かに挑戦してみたいと思いました。

- ・山中さんは、演奏する前は普通の様子なのに、演奏を始めると人が変わったように見えて、音楽や究めたものに対する意識の高さに尊敬できると思った。
- ・迫力のある演奏に圧倒されました。聴き終わって一日以上たった今でも、ピアノの演奏が頭に残っています。特に印象的だったのは、鍵盤を高速で1つずつ鳴らしていく技術です。どのように叩けばあのような音の連続を生み出せるのか、とても不思議でした。また、ベースの人の動きが、プロっぽくて格好良かったです。とても貴重で楽しい時間を過ごすことができました。
- ・山中さんたちが演奏する姿がかっこよく、自分も演奏できるようになりたいと思った。ジャズの演奏中のソロが終わったら拍手をするというマナーも知った。機会があれば演奏を聴きに行きたいと思った。
- ・演奏面では、とても激しくなるところと、反対に静かになる所の差が印象的でした。吹奏楽班が使っているドラムから出ていると思えないドラムの音がすごくかっこいいと思っていました。
- ・自分が想像していたものと全く違って、まずは驚きました。その後はジャズを楽しむことができました。久しぶりにピアノを聴いて、自分も好きなように感じたままに演奏できたら、どれほどかっこいいだろうなど想像してしまいました。圧巻の演奏ですごく感動しました。
- ・YouTubeとかで聴くより生で聴くほうが得るものが多くて、貴重な経験でした。
- ・ジャズってよくきくけど、どんなものかは知らなかったもので、聴く機会があってよかった。班ごとの共演はすばらしかった。歌うまい。今井琶子ちゃんの歌に感動した。「あの子、実はかるた班の後輩なんです」と周りの人に自慢しまくりました。
- ・思っていたよりも演奏に私たち聴いている人の存在が大事な音楽だと考え、ジャズを聴くなら生で楽しみたいと感じた。
- ・合唱班は自分には出せないような声で歌っていてすごかった。吹奏楽班はソロパートもあったし全体として迫力があつた。個人とのコラボではサックスの音がとてもきれいだったし、歌もとてもうまかったのですごいと思ったしとても驚いた。
- ・私は今までジャズをあまり聴いたことがなく、演奏を聴く前はなんだか緊張していたが、演奏を聴いて楽しくなり、もっと聴きたくなった。聴いたことのある曲でも、ジャズとして演奏されると別の曲のようになったので、おもしろかった。また、演奏されていた山中さんたちが真剣だけど楽しそうに演奏されていて、素敵だなと思った、私も山中さんたちのように、楽しみながらも真正面から向き合える何かを見つけて、挑戦していきたい。
- ・ピアノをいつか弾けるようになりたい…。

- ・ドラムが見た目も音もかっこよく、淵の部分を叩いている時があり、使えるところはどこでも使うんだなと思った。本当にいろんな種類の音がドラムから出ていた。膳所高生の発表がレベルが高くて驚いた。
- ・正直、ジャズを聴いたことがなくて、イメージとしてはゆったりとした、渋い大人が聴くおしゃれな音楽というイメージを持っていたが、山中さんの演奏が想像以上に激しくてびっくりした。テンポが速く、大きな音が多くて、ジャズに対するイメージが180度変わった。「Let It Go」や「Take 5」をみんなの前で演奏する勇気もすごいし、どっちもめっちゃ上手くて圧倒された。
- ・せっかくの素晴らしいものを正しく楽しむためには、事前学習をして行くべきでした。芸術鑑賞はただ聴いたり見たりしたらいいだけのものではないと私は思います。背景やマナーをしっかりと理解しておくことが必要だったと思います。勉強ができて、芸術が理解できない人であってはいけないと感じました。もちろんとてもいい演奏でしたし、聴くことができてとても幸せでした。
- ・私はジャズを聴いたことがなく、はじめて生で聴けるこの鑑賞会を楽しみにしていました。山中さんの指の動きがよく見える席だったので、ピアノを弾く際の動きに圧倒されました。また、ピアノとドラム、ベースという組み合わせは新鮮で楽しかったです。自分たちが参加して一緒になって音楽をできるジャズにとっても魅力を感じました。また、山中さんの演奏を聴く機会があれば嬉しいです。
- ・今回、ジャズっぽい曲は好きだけれど、実際にしっかり聴くのは初めてだったので、楽しみにしていた。ジャズにはあまり詳しくなかったので、ベースがコントラバスだったのに驚いた。演奏を聴いていて、3人ともが本当に楽しんで演奏しているのがよくわかった。お互いを信頼してソロをパスしたり、お互いのソロやみんなを盛り上げたりしていて、全員で音楽を楽しもうとする姿勢がすごくすてきだと感じた。生徒の発表も、みんな楽しそうで、挑戦する姿勢がいいと思った。私は吹奏楽班なので、演奏のときには、技術を気にするのも大切だけれど、みんなと音楽を楽しむことを大切にしようと思った。
- ・ロックバンドを見ているような首の振り方をしていて、「バイブスあがってるじゃん」って、すごく感じられました。曲の激しさも本当にジャズかと思うほどの激しいものが多く。僕の中のジャズのイメージが一気に壊れていきました。セッションも、生徒がえぐかったのはいうまでもないけど、それを引き立て役に回る3人の姿を見て、「タンク、ヒーラー、アラックを一人でこなす凄腕プレーヤー」のように見えました。
- ・今までジャズはカフェで流れているオシャレでゆったりしたイメージだったので、いきなり一曲目から激しくてびっくりした。また、最後の曲は会場全体が一体となって楽しめた感じがして、よかった。だんだん時間がたつにつれ、会場の中がなごやかな雰囲気になっていって、音楽の力はすごいと思った。山中さんのエピソードもとてもおもしろく、ピアノが沈んでいった話は、「あ、ここらへん、めっちゃ沈んでそう」とか、演奏をききながら考えたりして、とてもおもしろかった。生徒との共演も興味深かった。

- ・とにかく楽しくて、始めから終わりまで飽きることなく、もっと聴きたい！という気持ちになりました。それぞれの楽器のソロパートの部分がとてもかっこよかったです。こんなにおもしろくてノリノリになれる音楽とは知りませんでした。もっと早く知りたかったです。サクソ、めっちゃ好きです！
- ・特に、ベースの重低音は体に心地よい振動をもたらして、生演奏の臨場感を聴覚以外から感じることで、とても楽しかった。私の所属する吹奏楽班から、1年の渋谷君や榎君が出ていたことに、大きな刺激を受けた。
- ・ジャズを聴こうと思って聴いたことがなかったので、ジャズってこういうものなんだと思いました。吹奏楽班や1年生2人の演奏は鳥肌が立ちました。全校生徒の前であんなに生き生きとできるのはすごいと思いました。
- ・山中さんのお話が面白かった。またジャズを家で聴いてみたいと思ったし、お母さんにも今回のことを教えてあげたいと思った。ジャズは聴くと楽しい気持ちになって、楽しみながら聴くことができた。今回のような機会が設けられて本当に良かった。ニューヨークの話山中さんがされていたが、世界に通用する音楽はすごいと思う。
- ・ジャズの音色は激しくきれいで、聴いている人を勇気づけてくれると思った。生徒との共演もすばらしかった。特に、校歌をあそこまで楽しい曲にできることに驚かされた。こんあにも聴いていて楽しく、嬉しい気分になった音楽は初めてだった。
- ・今井さんの歌に感動した。1000人を前に1人で歌える勇気がすごい。いつまでも聞いていられる。
- ・同じ1年生と山中さんたちが一緒に演奏している姿を見て、同年代でもステージに立って堂々としているのだから、自分もできる！という勇気をもらえた。先輩のソロを聴いて、もっと自分も頑張ろうというやる気が出てきた。
- ・「異邦人」という曲が最も心に残りました。ジャズの次々と変わっていくメロディーとても面白かったです。これまで聴いていたジャズとは一味違った音楽だったので、新しい世界が開けたような気がしました。生徒交流演奏では、同じ1年生が堂々と前に立っていて、すごく刺激を受けました。私は音楽系の班に入っているので、あれだけのパフォーマンスができることに嫉妬もしました。私もあの子のようになれるように、頑張りたいと思いました。
- ・Let It Go のときは、歌っている人がかっこいいと思った。あんなにキレイに、美しく、楽しそうに歌っていて、こっちも元気になった。

- ・はじめてジャズというジャンルの音楽に触れられてとてもよかった。異邦人ははじめすごく寂しい感じだったけど、どんどんもり上がってきて、ベース、ドラム、ピアノの3つの音色をととても感じられた。膳所高生との共演ではどの班、人もすごかったし、特に、Let It Go を唄っていた5組の人の歌声はつい聴き入ってしまうくらいうまくて感動した。
- ・私は昔、ドラムを習っていたが、橋本さんのドラムの演奏を見て、その上手さに驚き、また自分もドラムをたたきたくなった。1曲1曲に思いが込められていて、「Today Is Another Day」のタイトルになった理由に感動した。
- ・ジャズを全く知らない私でもとても楽しめました。曲によって印象が違って、次はどんな風になるんだろうと、ずっとわくわくしながら楽しみました。同じ曲の中でも、ピアノ、ベース、ドラムで主役が変わり、ずっとピアノが主役でないことに驚きました。  
初めて生で聴くジャズが山中さんのジャズで良かったと心から思います。
- ・自分も一応、ジャズドラマーなので、そういう意味で有意義な時間を過ごすことができた。決めの部分は何かから何までバチッとそろっていて、ソロもそれぞれのフルパワーが感じられて圧巻だった。  
最近自分はあまりジャズを叩いていなかったけど、この演奏を見て、これからも頑張ろうと、とてもやる気がでた。
- ・拳で鍵盤を殴るように弾いたり、靴音を響かせてリズムをとったり、ドラムスティックをペン持ちしていたり…自分の想像していた表現の粋突き破るような場面がたくさんあった。交流企画でも生徒の皆さんの声や音色が何というか、冴えわたっていて、久しぶりに「生の」音楽に「心を動かされる」という体験をした気がした。
- ・私が今まで聴いてきた音楽は、今回のジャズのような即興のものとは違って、まとめられているようなものだったのですが、ジャズの即興はそれぞれが自分の音を前面に押し出していて、けれど、互いに見せ場を作りあっていて、まるで会話のようでした。とても楽しくすてきな演奏会でした！
- ・聴く前は、ジャズとは大人しいイメージがありましたが、聴いた後は激しく強いロックのような面もあり、色んな種類があるのだと思いました。このような芸術鑑賞会に参加できてとても満足でした！  
また開催してほしいです！
- ・盆踊りのリズムで会場全体が手拍子している時、自分も演奏に関われている気がして、一体感を感じた。自分のクラスの人が出演しているのを見て、新たな一面を知れた気がした。皆さん堂々と見事なパフォーマンスをされていて、すごいなと思った。ジャズをもっと聴いてみたい。

・セントラルパークで少女と出会ったことがきっかけで、ニューヨークをイメージした曲を作るなど、思ったことがピアノの弾き方などを含め、本当に自由に表現できるのがジャズなのだと分かった。

そして、榎君も琶子ちゃんも本当に上手かったし、なによりあの場で、あれだけのパフォーマンスができるのは、本当にすごいと思った！

・聴いていて、脳がリフレッシュされたような感覚になった。

・演奏が始まる前は、前のクラシックの時と同じで、寝てしまうかもしれないと思っていたけれど、トリオの皆さんの音楽への情熱や研ぎ澄まされた音色に引き込まれたてしまい、気付いたときには第Ⅰ部が終わっていた。第Ⅱ部での交流演奏もすばらしく、特に、5組の今井さんの歌声が素敵だった。力強く、かつ可憐で、幼いころからたくさん練習してきたことがわかった、交流演奏では山中さんトリオは完全に伴奏に徹していて、存在を主張しすぎず引き立て役として全体の演奏の質を底上げできるのは、やはり技量があるからこそなのだろうと思った。私は、橋本さんのドラムがすごくかっこ良く感じた。山中さんがおっしゃったように、嘯みつくような激しさでもって軽快なリズムを刻み、ソロパートでは毎回ドラムの持つ格好良さを前面に出していて、私もこんな風にドラムを叩いてみたいと思わせられた。

・鑑賞会が始まると想像しているよりも激しくて、陽気で、とても楽しい演奏だった。にぎやかではあったが心地よさは変わらず、とてもリラックスできた。特に印象に残っている曲は「Today Is Another Day」という曲で、明るかったり、静かだったり、曲調が変わっていくのに自然に移り変わっていて、物語のような感じがして、とてもきれいだった。

・ジャズのカッコよさを知れた鑑賞会でした。生で聴くのは初めてだったし、普段も違うジャンルの曲ばかり聴いていましたが、山中さんの鮮やかなピアノの音色、畠山さんの重みと軽やかさが共存した低音のベース、橋本さんの思わずノッてしまうような躍動感のあるドラムにすっかり聴き入っていました。かんたんに言えば「オシャレ」だけれど堂々としている音楽で、楽器そのものの良さがとても活かされている、楽器が出す「良い音」「美しい音」で楽器の良さがそのまま出ている演奏だったように素人ながら感じさせられました。とにかく「格好良かった」です。生徒とのコラボパフォーマンスも圧巻でした。ジャズの良さをざいたくに味わうことができました。

・僕は、ベースの方の技術や音の重ね方が上手だと思った。特に、最初の2曲では、大きなベースの弦を自由に操る技術に感銘を受けた。指の動きの速さにびっくりした。

・今までジャズを聴いたことがなく、どんなものだろうと思っていましたが、実際に聴いてとても感動しました。生の演奏だからこそ見えてくる情熱や激しさというものもあって、まさに圧巻のひと言でした。吹奏楽班、合唱班の皆さんとのコラボもとても素敵でした。1年5組のおふたりを「同学年なのにプロと同じ舞台上で堂々と演奏するなんてかっこいい！」と尊敬のまなざしですずっと見ていました。本当にかっこよかったです。

- ・ジャズの生演奏をびわ湖ホールで初めて聴くことができ、とても嬉しかったです。印象に残っているのは、ドラムの橋本さんの演奏です。フットペダルを踏む技巧やソロの演奏、リムショットの正確さ、ハイハットのアップダウンの素早さなど、数えあげればきりが無いほど、どれも圧巻でした。また、膳所高生との共演では榎さんのサクソとのセッションが少し気怠げな大人の感じを演出していて、聴いていても格好良く、ジャズバーにいるような気分になりました。

ジャズ特有のリズムのとり方や情熱的な演奏、即興演奏は自分の音楽観に深く刺さったので、これからの自分の演奏につなげていきたいと思いました。

- ・自分は音楽に詳しくないので、Jazzを初めて聴いたが、それでも山中さんたちの演奏がうまいことがよく分かるくらいすごい演奏だった。Jazzは即興でしていると聞いていたが、山中さんたちはズレを感じさせず、3人ともきれいに合っていたので、即興とは信じられなかった。山中さんのピアノが右から左へ流れて全ての鍵盤を叩くのがあったが、中学のことに同じ動きをしたときは、手が痛くて続きなんて無理だったのに、山中さんは問題なく続けていたのに驚いた。1年5組の2人がうまいのもそうだが、山中さんたちも短い期間で全力を出せるように合わせてくれたらうから、どちらもすごいと思った。
- ・僕は勉強をするときなどに、よくYouTubeでジャズを聴いています。そのため、生でジャズの演奏を聴くことができ、とても嬉しかったです。以前にも、芸術鑑賞でピアノの演奏を聴きましたが、そのときはまた違ったカッコよさや、迫力があって、とても良かったです。また、今回の演奏はピアノだけではなく、バスもドラムも合っていたので、音の深さや曲の雰囲気を感じることができました。特に、ドラムの人があんな難しいリズムをずっとキープしていて、たまに入るソロパートなどもとてもすごくて、カッコいいなと思いました。お互いを信じ合っているからこそ、あの演奏だと思います。勉強用BGMとしてではなく、しっかりとジャズを聴き込んでみようかなと思いました。
- ・アレンジの可能性は無限大だなと感じた。和風な盆踊りのリズムが目まぐるしく変化するジャズに合うことが意外で、また、手拍子によりホールの一体感がとても楽しかった。正直、始まる前は眠くならないか心配だったけれど、圧巻で、カッコ良すぎて、目と耳ばっしばしでした。本当にすごかったです。ありがとうございました！！